

三菱地所・サイモン株式会社を優先協議者に決定

平成30年度オープン予定

基本協定を締結

アウトレットモールを核とする観光型集客施設を建設・運営する民間事業者を公募し、優先協議者として三菱地所・サイモン株式会社を決定しました。

3月26日には、三菱地所・サイモン株式会社と株式会社三菱地所設計、市の3者で、このプロジェクトの推進に向け協議・調整を行うための基本協定を締結しました。

今後は事業契約の締結を目指し、協議・交渉を進めていきます。

国内10カ所目のプレミアム・アウトレット

事業規模は国内最大級

御殿場プレミアム・アウトレット並みの規模

三菱地所・サイモン株式会社の提案では、外観はアメリカの歴史ある街並みを再現し、非日常空間を演出する施設計画となっています。沿道には植樹などの緑化を施し、周辺との調和にも配慮しています。

また、子どもや高齢者に使いやすい

すだけでなく、海外から日本へ来る観光客誘致にも対応し、外国人にも使いやすいデザインやサインを導入した施設づくりを設計コンセプトとしています。

花園IC拠点整備プロジェクトとは
花園インターエンジンの近接地（永田・黒田地内）に新たな観光拠点を設置し、市外・県外から人を呼び込み、地域産業の発展に寄与することを目的とした事業です。

広域からの集客の手段として、アウトレットモール（観光型集客施設）を誘致するとともに、この隣接地において、県北・秩父地域の市町村や地域固有の資源などの交流と連携の促進を図りながら、農業と観光の振興に資する施策を展開していきます。

このプロジェクトにより、市には税などの増収による『自主財源の確保』や『雇用の創出』が期待され、さらには本拠点への来場者を市内へ誘導することで多くの経済波及効果が生まれます。

現在、市では平成30年度のオープンを目指し、さまざまな調整を行っています。



協定締結後、握手する三菱地所・サイモン株式会社代表取締役社長 山中拓郎氏（写真右）と小島市長（3月26日・市役所市長公室）

プロジェクト推進に向け協議・調整を開始

市が投資する概算事業費は約50億円

20年間で130億円以上の黒字見込み

このプロジェクトは、各種手続きと造成工事および周辺都市基盤整備などの期間を平成29年度まで

と設定し、この期間に市が投資する概算事業費は、約50億円を見込んでいます（表を参照）。

市が投資する概算事業費は、土地賃料や大規模な施設建築の設備投資に対する固定資産税などの収入により、施設運営開始後7年程度での回収を見込んでいます。

長期収支計画

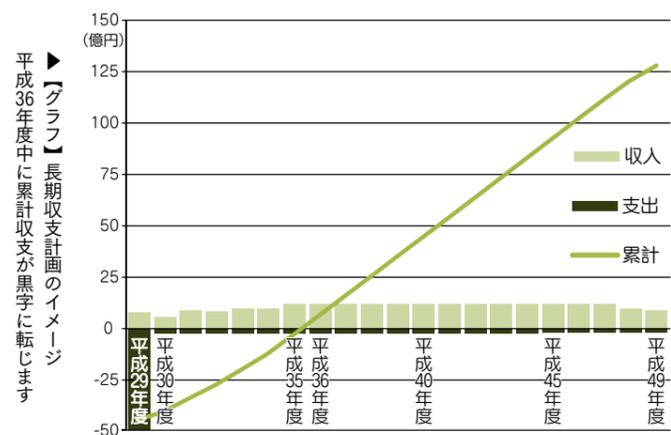
市では、事業期間を20年（平成26～29年度（準備期間）を含め24年）とし、長期の収支計画（グラフを参照）を作成し、このプロジェクトが市の財政に与える影響を計りました。

その結果、平成36年度中（運営開始後7年目）に投資額を回収し、平成49年時点の累計収支は、130億円の黒字となりました。なお、収支計画の試算条件は次の通りです。

【収支計画の条件】

- ①平成29年度末までを工事期間、平成30～49年までを運営期間に設定
- ②借入金に対する利息や地代支払いを含む
- ③合併特例債を活用

施設イメージ（今後変更になる可能性があります）



【表】概算事業費（初期投資）支出計画

| 業務概要 | 平成27～29年度 |
|-----------------------------|-----------|
| 委託費（各種測量、道路および造成計画など） | 1.8億円 |
| 建設費（造成、関連道路整備、ライフライン整備など） | 26.3億円 |
| 用地買収・物件補償（造成および道路整備に伴う物件補償） | 16.6億円 |
| 負担金（駅舎設計・建設費用、駅運行準備、踏切拡幅など） | 4.2億円 |
| 合計 | 48.9億円 |

三菱地所・サイモン株式会社ってどんな会社なの？

日本国内に9つの『プレミアム・アウトレット』を運営しています。その中でも代表的な東名高速道路沿いの御殿場プレミアム・アウトレットは、国内最大級です。210店舗が入り、店舗面積は約44,600平方メートルの規模を誇ります。

